

- 1 問1 ・ : ②・④ 問2 : ⑤
 問3 : ⑤ 問4 : ③ : ⑤
 *問4 A ⑤は悩むかもしれないが、そもそもタバコには含まれないので無関係。

- 2 問1 : ① 問2 : ③ 問3 : ④
 問4 : ② 問5 : ⑦ : ⑧
 *問1 基質となるルシフェリンがないため、GFPは光るがルシフェラーゼの作用はないと考える。
 *問5 問題文に「F2におけるF1と同じ表現型の出現比率を1とする」と明示されていないのが不親切。つまり、[GR] : [Gr] : [gR] : [gr] = 9 : 3 : 3 : 1の9を1とすればすんなり解答できたはず。

- 3 問1 ・ : ①・③ 問2 : ⑨
 問3 : ② 問4 : ①
 問5 ・ : ②・⑥ (コメントは右上に)

*問1 ④を正解としてしまう人も出そうだが、そもそも汗にはリゾチームが含まれ、細菌の細胞壁を破壊するので増殖を抑制する。では、その後なぜ細菌が増殖するかといえば、それはエポクリン腺から分泌される皮脂を餌として増殖するからである。

- 4 問1 : ④
 問2 : ④ : ① : ①
 問3 : ③ : ② : ①
 *問3 ガストリンもセクレチンも消化管ホルモンだが、ガストリンは胃のG細胞から分泌される。

- 5 問1 : ③ 問2 : ③ 問3 : ④
 問4 : ② 問5 : ⑧
 *問1 例えば同じ種のイヌ(*Canis familiaris*)でも、レトリバー、シェパード、コリー、シバ犬など、形も大きさも互いに異なるものがある。ようするに、見た目よりも「遺伝的同一性」や「互いに交配できるかどうか」のほうが種の区別には大事なこと。

講評

解答数、難易度とも例年並みといえるが、解答するのは結局のところ基礎知識やそれに基づく考察でしかないのに、問題文や選択肢の表現でごまかされそうになる問題が多いという点では、これまでの出題傾向に比べると厄介な出し方になったといえる。ただ、この程度のレベルでごまかされているようでは勉強不足といわざるをえない。計算らしい計算もほとんどないので、とにかくすみずみまで丁寧に読んで、自分の持つ基礎知識と照合して考えて、最低でも80%以上は確保しなければならない問題であろう。